令和7年度 計算書類

貸借対照表

令和8年3月31日　　単位(円)

資産の部		
科目	本年度末	前年度末
固定資産	5,468,958,828	5,479,581,111
有形固定資産	5,228,276,662	5,346,980,237
その他の固定資産	240,682,166	132,600,874
流動資産	1,065,090,354	934,502,740
資産の部合計	6,534,049,182	6,414,083,851
負債の部		
科目	本年度末	前年度末
固定負債	511,185,000	580,624,000
流動負債	1,309,424,435	1,276,907,945
負債の部合計	1,820,609,435	1,857,531,945
純資産の部		
科目	本年度末	前年度末
基本金	6,937,044,935	6,846,674,639
繰越収支差額	△ 2,223,605,188	△ 2,290,122,733
純資産の部合計	4,713,439,747	4,556,551,906
負債及び純資産の部合計	6,534,049,182	6,414,083,851

事業活動収支計算書

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで　　単位(円)

		科目	本年度決算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,064,246,634
		手数料	18,295,100
		寄付金	3,232,029
		経常費等補助金	562,053,269
		付随事業収入	81,893,764
		雑収入	17,230,946
		教育活動収入計	1,746,951,742
	事業活動支出の部	人件費	974,594,130
		教育研究経費	399,939,943
		管理経費	183,045,866
		徴収不能額等	5,626,714
		教育活動支出計	1,563,206,653
教育活動収支差額			183,745,089
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,289,746
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	1,289,746
	事業活動支出の部	借入金等利息	13,553,428
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	13,553,428
教育活動外収支差額			△ 12,263,682
経常収支差額			171,481,407
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	1,063,566
		その他の特別支出	13,530,000
		特別支出計	14,593,566
特別収支差額			△ 14,593,566
基本金組入前当年度収支差額			156,887,841
基本金組入額合計			△ 190,687,145
当年度収支差額			△ 33,799,304
前年度繰越収支差額			△ 2,290,122,733
基本金取崩額			100,316,849
翌年度繰越収支差額			△ 2,223,605,188

(参考)

事業活動収入計	1,748,241,488
事業活動支出計	1,591,353,647

資金収支計算書

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで　　単位(円)

収入の部	
科目	本年度決算
学生生徒等納付金収入	1,064,246,634
手数料収入	18,295,100
寄付金収入	0
補助金収入	562,053,269
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	81,893,764
受取利息・配当金収入	1,289,746
雑収入	12,727,727
借入金等収入	640,000,000
前受金収入	223,855,334
その他の収入	1,116,250,791
資金収入調整勘定	△ 256,253,351
前年度繰越 支払資金	898,990,932
収入の部合計	4,363,349,946

支出の部	
科目	本年度決算
人件費支出	953,474,130
教育研究経費支出	283,869,877
管理経費支出	174,911,000
借入金等利息支出	13,553,428
借入金等返済支出	681,914,000
施設関係支出	38,662,349
設備関係支出	74,969,353
資産運用支出	4,236,549
その他支出	1,202,281,055
資金支出調整勘定	△ 101,471,662
翌年度繰越 支払資金	1,036,949,867
支出の部合計	4,363,349,946

学校法人　東洋学園

活動区分資金収支計算書

令和7年4月 1日から
令和8年3月31日まで

単位(円)

	科目	金額
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	1,739,216,494
	教育活動資金支出計	1,412,255,007
	差引	326,961,487
	調整勘定等	△ 18,634,307
	教育活動資金収支差額	308,327,180
施設整備等活動による資金収支	科目	金額
	施設整備等活動資金収入計	0
	施設整備等活動資金支出計	113,631,702
	差引	△ 113,631,702
	調整勘定等	0
	施設整備等活動資金収支差額	△ 113,631,702
小計(教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)		194,695,478
その他の活動による資金収支	科目	金額
	その他の活動資金収入計	1,733,354,171
	その他の活動資金支出計	1,790,090,714
	差引	△ 56,736,543
	調整勘定等	0
	その他の活動資金収支差額	△ 56,736,543
支払資金の増減額(小計 + その他の活動資金収支差額)		137,958,935
前年度繰越支払資金		898,990,932
翌年度繰越支払資金		1,036,949,867

学校法人　東洋学園

（収益事業会計）

貸借対照表

令和8年3月31日　　単位(円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,023,502	流動負債	580,000
固定資産	168,093,329	固定負債	543,500
		負債合計	1,123,500
		純資産の部	
		元入金	188,529,698
		利益剰余金	△ 17,536,367
		純資産合計	170,993,331
資産合計	172,116,831	負債・純資産合計	172,116,831

損益計算書

自　令和7年4月1日
至　令和8年3月31日　　単位(円)

科目		金額
営業損益		
(1)営業収益		8,902,541
(2)営業費用		3,611,428
	営業利益	5,291,113
営業外損益		
(1)営業外収益		2,891
	経常利益	5,294,004
(1)特別利益		1,334,954
(2)特別損失		24,165,325
	学校会計繰入前利益	△ 17,536,367
	学校会計繰入金支出	0
	税引前当期純損失	△ 17,536,367
	法人税、住民税及び事業税	0
	当期純損失	△ 17,536,367

学校法人 東洋学園

財産目録

令和8年3月31日　　単位（円）

科目	金額
Ⅰ資産総額	6,706,166,013
1. 基本財産	5,231,486,420
2. 運用財産	1,302,562,762
3. 収益事業用財産	172,116,831
Ⅱ負債総額	1,821,732,935
1. 固定負債	511,185,000
2. 流動負債	1,309,424,435
3. 収益事業用負債	1,123,500
Ⅲ正味財産	4,884,433,078

学校法人　東洋学園

令和８年６月17日
学校法人　東洋学園

令和７年度事業報告書

１．　法人の概要

(1) 名　称：学校法人 東洋学園　　【昭和３０年3月２８日　大阪府認可】

(2) 住所等：大阪府大阪市旭区森小路２丁目21−1
電話番号：０６（６９５４）０８０１

(3) 設置校：東洋学園高等専修学校　【昭和５３年6月２３日　大阪府認可】
東洋きもの専門学校　【昭和５５年9月２０日　大阪府認可】
近畿情報高等専修学校　【昭和５９年3月３１日　大阪府認可】
ユービック情報専門学校　【平成　3年3月１１日　大阪府認可】
長尾谷高等学校　【平成　5年3月３１日　大阪府認可】
京都近畿情報高等専修学校【令和　2年3月３０日　京都府認可】
京都長尾谷高等学校　【令和　6年3月１１日　京都府認可】

(4)教育の基本「品位・誠意・技術」

(5)TOYOスタイル

学校法人東洋学園グループには、きもの・コンピュータに関する各分野のプロを育てる２つの専門学校と現代の多様なニーズに応え、将来を見据えて技能修得を含め、自分のライフスタイルにあった高校生活を過ごすことのできる５つの高等学校・高等専修学校が設置されています。各学校では、自主性を尊重し感性を磨きつつ技術を向上させ、教養ある人格形成をめざします。これがＴＯＹＯスタイルの教育です。

(6)学園目標

①入学者の定員確保
②教育の質向上
③業務の効率化
④経費削減

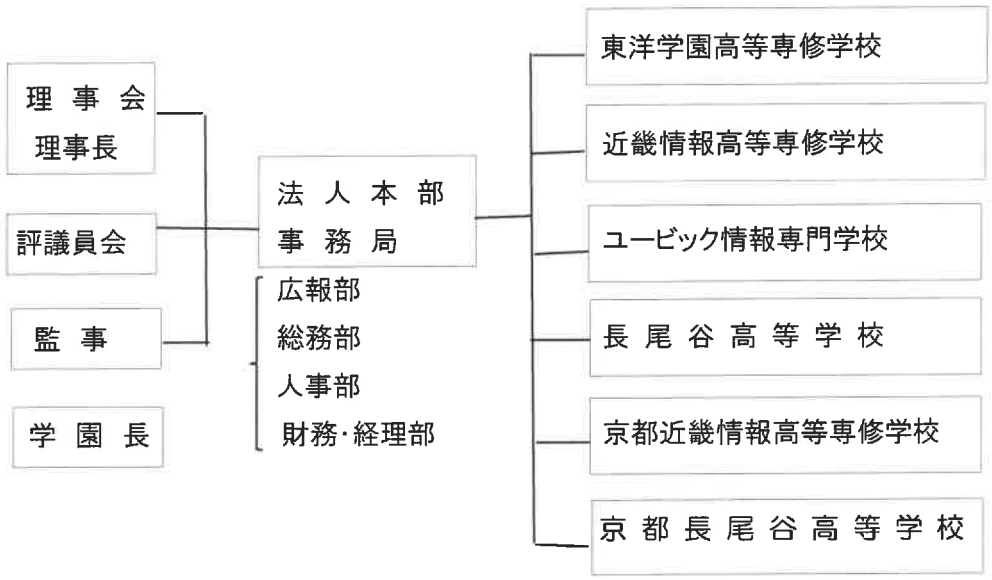
(7)事務職員学園目標

①業務の効率化
②事務能力の向上
③無駄な経費の削減
④自己目標

＊東洋学園の沿革

昭和 22 年	東洋服装研究所(洋裁科・和裁科)設立。
昭和 27 年	大阪府より東洋服飾専門学校として認可。
昭和 30 年	大阪府より学校法人東洋学園認可。
昭和 40 年	東洋服飾専門学校校舎完成、専門部・高等部に分離。
昭和 51 年	学校教育法の一部改正により専修学校に認可、東洋学園文化服装専門学校と改名。
昭和 53 年	東洋家政高等専修学校設立開校、高等学校と技能連携の指定を受ける。
昭和 55 年	東洋きもの部が専修学校として認可、東洋きもの専門学校と改名。
昭和 59 年	近畿情報処理専門学校設立開校。
昭和 60 年	文部省より東洋家政高等専修学校、近畿情報処理専門学校両校の卒業生に 短大・大学入学資格認定を受ける。
平成 3 年	ユービックコンピュータ専門学校開校。 近畿情報処理専門学校の校名を近畿情報高等専修学校とする。
平成 5 年	長尾谷高等学校開校、東洋家政高等専修学校・近畿情報高等専修学校は同高等学校 の技能連携校となる。
平成 6 年	ユービックコンピュータ専門学校をユービック情報工科専門学校に校名変更。 東洋学園創立 40 周年記念行事を挙行する。
平成 8 年	東洋ファッション工科専門学校の校名を東洋ファッションデザイン専門学校に改名。
平成 10 年	近畿情報高等専修学校が男女共学制になる。京阪奈社会福祉専門学校開校。
平成 11 年	長尾谷高等学校京都分室・梅田分室開設。
平成 12 年	長尾谷高等学校奈良分室開設。
平成 13 年	長尾谷高等学校ナンバ分室開設、東洋家政高等専修学校に福祉コースを新設する。
平成 14 年	ユービック情報工科専門学校をユービック情報専門学校に校名変更。
平成 15 年	東洋家政高等専修学校の福祉コースを福祉学科として申請認可され、 校名を東洋学園高等専修学校と改め、男女共学とする。
平成 16 年	東洋学園創立50 周年記念講演会・祝賀会を実施する。 近畿情報高等専修学校に国際情報コースを新設、ユービック情報専門学校、 京橋に新校舎完成移転。長尾谷高等学校梅田校新校舎完成。
平成 19 年	長尾谷高等学校ナンバ校校舎移転。
平成 20 年	京阪奈社会福祉専門学校閉校。
平成 22 年	長尾谷高等学校奈良分室移転。豊中学習センター開設。
平成 23 年	東洋学園高等専修学校第 7 校舎取得。
平成 25 年	長尾谷高等学校なんば校舎取得。
平成 26 年	東洋学園創立60 周年記念行事を挙行する。 豊中学習センター閉設。 近畿情報高等専修学校校地取得。
平成 27 年	近畿情報高等専修学校和道館新築竣工　2 階 PC 教室書道教室を設置する。 近畿情報高等専修学校高圧電気設備キュービクル新規取替。 長尾谷高等学校奈良分室賃貸契約期限の為家主から購入する。 東洋学園高等専修学校教職員用男子トイレ新設する。教職員女子用トイレ改築工事。
平成 28 年	長尾谷高等学校本校体育館屋根改修工事　本校・なんば校空調機入替工事 近畿情報高等専修学校コンピュータ室の改修工事と PC 更新 東洋学園高等専修学校第 5 校舎床 P タイル張替え・壁天井塗装工事
平成 30 年	東洋学園高等専修学校第 6 校舎改修工事 京都市伏見区醍醐の土地/建物購入
平成 31 年 （令和元年）	京都市伏見区醍醐（京都近畿情報高等専修学校）の建物改修及び増築（校舎） 東洋 F デザイン専門学校休校
令和 2 年	京都近畿情報高等専修学校開校（京都府認可）
令和 4 年	東洋 F デザイン専門学校閉校 京都市伏見区深草の土地/建物購入
令和5年	長尾谷高等学校京都校（京都市伏見区深草）移転 旧きもの・第7校舎跡地を駐車場として有効活用 長尾谷高等学校奈良分室隣地に駐車場設置
令和6年	京都長尾谷高等学校開校（京都府認可） 東洋学園創立70 周年記念講演会・祝賀会を実施する。

※学校法人の組織図（令和８年５月１日現在）



※役員構成（令和８年５月１日現在）

理事長	小寺　秀治
理　事	小寺　克一 堀内　巌 林　雅子 竹中　均
監　事	宮原　賢 児仁井　亞夫
評議委員	7名

※設置する学校（令和８年５月１日現在）

	生徒数	教職員数
長尾谷高等学校	1,469	（総合企画８名含む）121
近畿情報高等専修学校	538	63
東洋学園高等専修学校	164	34
京都近畿情報高等専修学校	52	13
ユービック情報専門学校	64	32
京都長尾谷高等学校	318	39

2.　事業の概要

（＊当年度に行った主な事業）

- 法人本部
  千林１丁目２軒内装工事、本部外壁塗装工事　等
- 長尾谷高等学校
  なんば校外壁塗装工事、なんば校高圧機器更新、本校 LED 更新工事、本校高圧機器更新、
- 京都長尾谷高等学校
  京都校クロス張替え工事、エアコン取付工事　等

- 京都近畿情報高等専修学校
  校舎道路側外壁塗替え　等
- 東洋学園高等専修学校
  バスケットコート場フェンス、ベンチ修繕工事、第５/第６校舎雨漏り修繕工事、
  第５/第６校舎 PCB 廃棄、第６校舎高圧機器更新　等
- 近畿情報高等専修学校
  体育館 LED ビジョン設置、グランドネット張替え、防護マット取替、廊下修繕　等
- ユービック情報専門学校
  南出入口修理、高圧機器更新、PCB 廃棄　等

３．　財務の概要

計算書類に記載のとおり

令和８年５月１７日
学校法人東洋学園

令和７年度事業報告書附属明細書

１．事業報告書の内容を補足する重要な事項

（1）　東洋きもの専門学校、長尾谷高等学校奈良分室が令和 ８ 年３月３１日に閉校いたしました。

（2）　令和８年４月１日 当学園理事長が小寺秀治に交代いたしました。

監　査　報　告　書

令和８年６月１６日

学校法人　東洋学園

理　事　会　御中

評議員会　御中

学校法人　東洋学園

監事　宮原賢

監事　兒仁井亞夫

私たちは、私立学校法第５２条第１号及び寄附行為第２９条第１項第１号に基づき、令和７年度（令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで）の、学校法人東洋学園の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況を監査いたしました。

その方法及び結果について、寄附行為第２９条第１項第２号に基づき、以下の通り報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

⑴ 理事及び職員との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会及び評議員会に出席し、理事及び職員から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類、学内諸規程、議事録等を閲覧し、学園の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況を調査しました。

⑵ 私立学校第 36 条第 3 項第 5 号の体制（内部統制）の整備運用状況を調査しました。

⑶ 会計監査人監査法人ソルシオから、その独立性に関する事項、会計監査に関する法令及び規程の遵守に関する事項、監査業務の受任及び継続の方針に関する事項、会計監査人の職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制に関する事項のほか、会計監査人の職務の執行の状況等について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

２　監査の結果

⑴ 計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人の監査の方法及び結果は相当と認めます。また、会計監査人の職務を遂行が適正に実施されることを確保するための体制は、相当であると認めます。

⑵ 事業報告書及び附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、学園の状況を正しく示しているものと認めます。

⑶ 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

⑷ 内部統制のシステムの整備についての理事会の決議内容は相当であると認めます。

また、その整備運用状況について指摘するような事項は認められません。

以　上